

## 2月の星座 野尻抱影

### 1. おおいぬ (CANIS MAJOR)

オリオンの南中を追って昇る爛たる超1等星はむしろこの座のシリウス、全天一の星の大王である。ギリシア名のセイリオス（焼きこがすもの）に出た。中国名の天狼も偶然ではない。シンティレーションの激しさでも有名で、夜空の壁をびりびり throb させて瞬間にもニジの七彩に変わる。

二月の青星朱けに裏返る 抱影

和名はアオボシで、これは昭和11年6月北海道の皆既食のとき、上田穰博士が北見の漁業組合長から聞かれてわざわざ知らせて下さった名である。青きが中の青星として優秀な星名である。

オリオンの獵犬とよんだ最古の文献は前9世紀のホメーロスの〈イーリアス〉である。トロイアの城に迫るギリシア勢の手盾がきらきら光るのを3回もこの星のきらめきに喩えている。同時にシリウスのどぎつい光には毒気があって、疫病飢餓をもたらす禍いの星として恐れ、その迷信が近代にまで及んでいる。星占いほどアホらしいものはない。

シリウスの伴星は上野の科学博物館の望遠鏡でもみた知人がある。オールヴァン・クラークの息子が1862年、父の最初の18インチで発見した話は天文ロマンスでも有名だが、それよりもドイツのベッセルが1844年、シリウスと、こいぬの  $\alpha$  プロキオンを連星組織だろうと推定し、それがいずれも後年に実証された話には頭がさがるばかりである。

### 2. こいぬ (CANIS MINOR)

$\alpha$  プロキオン（犬の前に）と  $\beta$  ゴメイザ（涙ぐむ星）と2つだけの小さい星座。  $\alpha$  が11光年でシリウスの8.6光年につぐ近い1等星であることは記憶している。和名は“北の色白”でシリウスの“南の色白”に対しての。

### 3. ぎょしゃ (AURIGA)

2月の半ば  $83^\circ$  の高さで子午線経過。中国名は五車、昔、神田に五車堂という凝った古本屋があった。和名ゴカクボシもいい。

$\alpha$  は Capella だから、カペラまたはカペッラと発音すべきだろう。メス山羊で羊飼いに抱かれている。馭者は別の神話による。黄色も、温度スペクトルも太陽型と聞くと何か親しみを感じる。そばに2匹の仔山羊（ハイディ）が扇子をぶら下げたような3角形をしているのが愛らしい。

### 4. アルゴ (ARGO)

神話の船だが半ば地平に隠れている。

$\alpha$  のカノーブスは竜骨の部分にある。シリウスの次いで、かつ名実ともに巨大な超1等星、中国名は南極老人星でこれが現れるのを吉兆とした。関東地方では地平とすれずれで、房州布良の漁夫が水死した亡魂と伝えてメラボシと名づけているが、南へ下るほど高くなる。しかし地平を横ばいするのでオーチャクボシなどとよばれる。

近ごろはカメラをぶら下げてグアム島あたりへ出かけるファンや新婚さんが、カノーブスや南十字星を盛んに写してくる。

◇ 2月の天文暦 ◇

日時	記	事
4 3	水星	留
5 2	立春	(太陽黄経 $315^\circ$ )
22	月	最遠
8 19	上弦	
11 10	天王星	留
16 2	望	
17 0	水星	西方最大離角
19	月	最近
19 22	雨水	(太陽黄経 $330^\circ$ )
22 17	下弦	

